

1-2

松本城縄張りの基礎知識

松本城管理事務所研究室



縄張り（なわばり）とは城造りの現場で築城の設計図通りに縄を張り巡したところから「設計」を意味するようになりました。松本城の鳥瞰図（ちょうかんず）を見てお答えください。

1 松本城は三重の堀に囲まれています。最も外側の堀をなんと呼びますか。正しいものに○をつけなさい。———③総（惣）堀

江戸時代の地図には「惣堀」と書かれている。現在では「総堀」と表記している。城の最も外側の堀でこの内側が松本城である。多くの人が松本城天守を松本城と思っているが、松本城は総堀に囲まれた範囲を言います。

2 松本城は上図のような縄張りですが南北はおよそ何メートル。———②600m

松本城の領域は南北およそ600m。台形の北側はおよそ500m。台形南側はおよそ400mです。

3 松本城への入り口（虎口）は5箇所あります。大手門の場所をA・B・Cから選びなさい。———（A）

したがって松本城は南を向いており、北側は丘陵で後堅固の城として造られています。「信府統記」は松本城の立地を「四神相応の地」として、城地として最も適していると記しています。四神相応の地とは北に高く、南に低く、南北に長く、東・南・西に流水がある所で、城地の（左）東に小川や田、西に道があり、南には川があり、北は山林となる所がよいとされています。

4 Eは「西不明門」といいます。読み仮名をつけなさい。また「西不明門」は現在の地図でどの場所に当たるか○をつけなさい。

○西不明門 （にしあかずのもん）———②松本税務署付近

松本城には不明門（あかずのもん）が二ヶ所（西不明門・北不明門）あり、普通の場合は開扉されることはありませんでした。城主も通ることは出来ませんでした。不明門は不浄門（罪人死人を運び出す門）の別称といわれ戦時には出撃口となったり、退避口ともなつたと考えられています。

- 5 Fの道は現在、市役所本庁舎と東庁舎の間の道路に当たりますが江戸時代には馬場としても使われていました。馬場の名前——④柳馬場

馬場の長さは南北231間余(およそ420m)で途中で馬見所がありました。

- 6 平成19年2月、「国史跡に指定された土塁跡」の場所。——(イ)西総堀土塁跡——土井尻町

平成18年4月駐車場にするため取り壊されようとしたため、松本市が取得し、国史跡に指定されました。

679.48平方メートル、松本城築城時の残存土塁で土塁の東側からは武家屋敷が西側からは土塁裾部に尖った杭列が発見された。今後歴史公園として整備される予定。

- 7 女鳥羽川の流路を変更した人。最近の研究では誰と考えられていますか。

——① 武田信玄

「旧松本市史」は石川康長が流路を変更したとし、「松本市史」も石川康長説をとっています。中川治雄氏は著書、図説[国宝松本城]61pにおいて詳細な史料解説を行ない、武田氏が滅び、天正10年小笠原貞慶が旧地を回復する前に流路の変更があったことを論証しています。大規模な土木工事を行なったのは治水技術をもっていた武田信玄以外に考えられないとし、信玄によって四神相応の城郭の基礎が出来たとしています。

- 8 この軍事施設の名称を書きなさい。——(馬出 うまだし)

- 9 「水切土手」がつくられたわけ。——③ 土手に細い穴を開け堀の水をゆっくり流し堀の水面を一定に保つため。

松本城の城域は扇状地の先端に築かれているため、北に高く南に低い。したがって、東総堀を考えた場合、土手を築いて小さな穴を開け水をゆっくり流さなければ堀の水面を一定に保てない。信府統記は水切土手を「水持土手」と呼んでいる。問題用紙の松本城鳥瞰図を見ても水切土手と同じ働きをしているのが「土橋」である。A・B・C・Dの諸門と馬出をつなぐ土橋、大手門、太鼓門前の土橋、北裏門の土橋、黒門前土橋が水切土手と同じ役割をはたしていました。

- 10 本丸・二の丸には1727年以前には3つの御殿がありました。城主の私邸として使われた古山地御殿は——(ト)

「古山地」という地名は時代により色々な書き方をしますが「古山地」と書くことに統一しています。石川数正が「なぐさみ所」として建てた御殿です。

